

## 令和3年度北海道科学技術奨励賞受賞者功績概要

氏名	園下 将大（44歳）		
	※ 年齢は令和3年4月1日現在		
所属・職名	北海道大学遺伝子病制御研究所 教授	現住所	札幌市中央区
<p>&lt;功績名&gt;</p> <p>「個体レベルの効率的な新規膵がん研究基盤の確立」</p> <p>&lt;功績の内容&gt;</p> <p>膵がんは、患者の5年生存率が約1割に留まる最も悪性のがんの一つであり、その新規治療法開発やそれに資するがん発生機序の解明は喫緊の福祉課題である。しかし、主にモデル生物等の実験系が不足しているため、これらの研究は困難を極めている。</p> <p>氏はこれを解決すべく、ショウジョウバエを使用し、治療薬候補やがん発生機序を個体レベルで迅速に同定できるスクリーニング系を確立した。さらに、遺伝学・計算化学・創薬化学を融合して論理的に薬物の副作用を低減する手法を創出し、これを哺乳類モデルと連動させて実際に新規治療薬シーズを開発することに成功した。本基盤は、創薬研究における初の個体迅速実験系として、がんはもちろんのこと、他の様々な難治性疾患の創薬研究を劇的に加速する可能性を秘めている。</p> <p>&lt;経歴&gt;</p> <p>（略歴）</p> <p>平成11年3月 東京大学薬学部卒業</p> <p>平成13年3月 東京大学大学院薬学系研究科修士課程修了</p> <p>平成14年4月 日本学術振興会特別研究員 DC1</p> <p>平成16年3月 京都大学大学院医学研究科博士課程早期修了</p> <p>平成16年4月 日本学術振興会特別研究員 PD</p> <p>平成20年4月 京都大学大学院医学研究科 助教</p> <p>平成23年1月 京都大学大学院医学研究科 講師</p> <p>平成24年4月 京都大学大学院医学研究科 准教授</p> <p>平成25年9月 Mount Sinai Medical School (New York, USA) Visiting Researcher</p> <p>平成29年4月 Mount Sinai Medical School Postdoctoral Fellow</p> <p>平成30年9月 北海道大学遺伝子病制御研究所 教授（現在に至る）</p> <p>平成31年8月 文部科学省研究振興局 学術調査官（兼任）（令和3年7月まで）</p> <p>（受賞歴）</p> <p>平成26年 7月 日本がん転移学会 研究奨励賞</p> <p>平成28年10月 日本癌学会 奨励賞</p> <p>平成29年 3月 Mount Sinai Medical School Promising Young Investigator Award</p> <p>平成30年 5月 The New York Hideyo Noguchi Memorial Society Scholarship</p> <p>令和 3年10月 経済産業省北海道経済産業局 NoMaps Dream Pitch 2021 優秀賞、NEDO 賞</p>			